

## 自治協会長会議で整理したコロナ禍における課題について

## ○趣旨

会長会議で3つに絞った下記のコロナ禍における研究課題について、各区自治協でその解決策等を検討し、再度会長会議に持ち寄った結果を今期の振り返り資料に盛り込み、第8期への引継ぎの一つとするもの。

## ○3つの課題

## 1. 会議の開催方法、それによる新たな体制・運営の確立について

会議をオンライン開催し、リモート出席を可能とすることはできないか(機運の視点も含む)。あるいは、そういう形で会議をすることで、新型コロナの感染拡大を防止するだけでなく、何か新しい体制・運営を確立することはできないか。

例:以下のことについて、メリット及びデメリットを整理する

- ・やる or やらない
- ・やる場合、事務局で機材を用意する or 用意しない(機材を持っている人のみ対応)
- ・事務局で用意しない場合、機材を持っていない人はコミ協事務所や出張所等でリモート出席

## 2. 自治協提案事業のあり方について

新型コロナの影響により今年度事業が実施できていないが、年度後半での実施の可能性及び来年度以降の「with コロナ」時代に対応した自治協提案事業のあり方について検討する。

## 3. 防災強化に向けた、自治協の役割について

台風シーズンを迎えるが、新型コロナにより各地域の縦・横のつながりが分断されている状況下で自治協の人と人をつなげ、地域と行政、各種団体等を結ぶ役割は大きいと考えられる。

有事に備え、防災強化(防災士等の人材育成、区民の意識の啓発など)について自治協としてどのように検討し取り組んでいけるか。